

(案)

新宿区からのお願い

日頃より、新宿区政にご協力いただきありがとうございます。

区では、平成30年6月18日に発生した大阪府北部の地震による塀の倒壊被害を受け、既設の塀の安全化指導・啓発に取り組んでいるところです。この度、平成30年10月下旬から翌年3月31日にかけて専門業者に委託をし、区内全域の一般の交通に供する道路沿いのブロック塀等（ブロック塀、万年塀、石積塀）を対象に点検調査を実施しております。

平成 年 月 日にお伺いさせていただきましたがご不在のため、宅地の外から可能な範囲で点検調査をさせていただきました。あらためて、調査趣旨の説明及び追加調査のため委託業者がお伺いさせていただきます。

再訪問の際、ご不在の場合は、本日実施した宅地の外からの調査にて終了とし、後日、点検調査の結果を書面にてお知らせします。損傷等が見られた場合はあわせてご連絡させていただきますので、改善等をお願いします。

なお、今回の点検調査は外観から行うもので、基礎の深さ、鉄筋の有無などは確認いたしません。所有又は管理されているブロック塀等の安全性を確認されたい方は、ご自身で専門家に依頼する必要があります。

※調査員は区が発行した身分証明書を携帯し、腕章を着用しています。

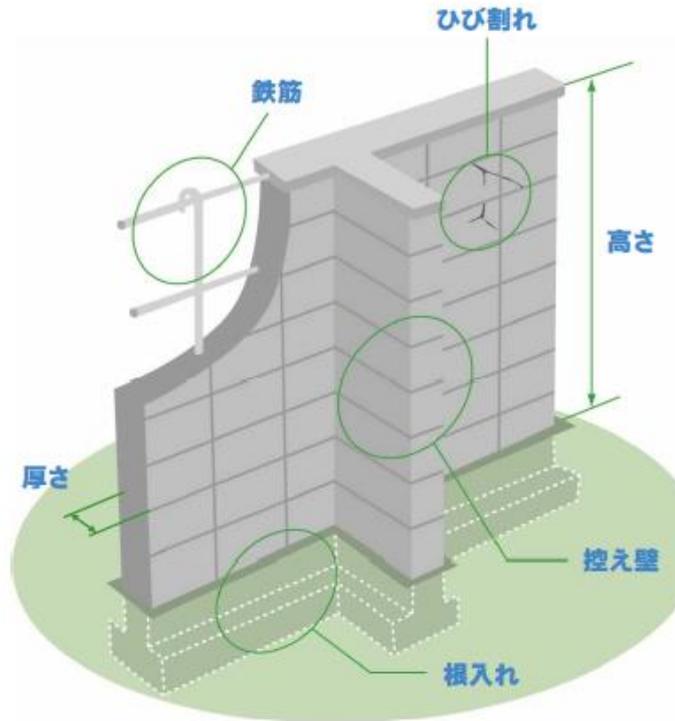
ご不明な点がございましたら、お手数ですが、下記連絡先までお問合せください。



連絡先
新宿区 都市計画部 建築調整課
☎03-5273-3107

裏面には、国土交通省が作成した「ブロック塀の点検のチェックポイント」を掲載しています。どうぞご活用ください。

ブロック塀の点検のチェックポイント (国土交通省作成)



出展：
パンフレット「地震からわが家を守ろう」日本建築防災協会 2013.1 より一部改

組積造（れんが造、石造、鉄筋のないブロック造）の塀の場合

- 1. 塀の高さは地盤から 1.2m 以下か。
- 2. 塀の厚さは十分か。
- 3. 塀の長さ 4m 以下ごとに、塀の厚さの 1.5 倍以上突出した控え壁があるか。
- 4. 基礎があるか。
- 5. 塀に傾き、ひび割れはないか。

〈専門家に相談しましょう〉

- 6. 基礎の根入れ深さは 20cm 以上か。

ブロック塀について、以下の項目を点検し、ひとつでも不適合があれば危険なので改善しましょう。

まず外観で 1～5 をチェックし、ひとつでも不適合がある場合や分からないことがあれば、専門家に相談しましょう。

□ 1. 塀は高すぎないか

- 塀の高さは地盤から 2.2m 以下か。

□ 2. 塀の厚さは十分か

- 塀の厚さは 10cm 以上か。（塀の高さが 2m 超 2.2m 以下の場合には 15cm 以上）

□ 3. 控え壁はあるか。（塀の高さが 1.2m 超の場合）

- 塀の長さ 3.4m 以下ごとに、塀の高さの 1/5 以上突出した控え壁があるか。

□ 4. 基礎があるか

- コンクリートの基礎があるか。

□ 5. 塀は健全か

- 塀の傾き、ひび割れはないか。

〈専門家に相談しましょう〉

□ 6. 塀に鉄筋は入っているか

- 塀の中に直径 9mm 以上の鉄筋が、縦横とも 80cm 間隔以下で配筋されており、鉄筋は壁頂部および基礎の横筋に、横筋は縦筋にそれぞれかぎ掛けされているか。
- 基礎の根入れ深さは 30cm 以上か。（塀の高さが 1.2m 超の場合）

危険性が確認された場合には、付近通行者への速やかな注意表示及び補修・撤去等を行ってください。